



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学教育_自然科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 1
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20110568009003	科目番号	05680090
授業科目名	●地球と宇宙の科学(図解と計算で解く地球科学の諸問題)		
編集担当教員	武藤 鉄司		
授業担当教員名(科目責任者)	武藤 鉄司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	武藤 鉄司		
科目分類	自然科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[全]124		
対象学生(クラス等)	全学部		
担当教員Eメールアドレス	tmuto@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部本館2階 環211		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	火曜日13:00-17:00		
授業のねらい	地球科学における初歩的～基礎的な知識を易しい計算と図解を通じて学習する。		
授業方法(学習指導法)	一方的に講義することはしない。受講者は自分の頭と手を使って問題にチャレンジすることがもてめられる。		
授業到達目標	地球科学上によく知られた基本的な問題について自分の言葉で解法を説明できる。		
授業内容	地球科学上の易しい問題を取り上げ、高校レベルまでの簡単な数学と図解を通じて理解を深める。高校地学の履修歴がなくても十分に理解できる内容。とくに数学や物理が得意な人に向いている。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション / 気候変動の放射平衡モデル(0)	
	2	気候変動の放射平衡モデル(1)	
	3	気候変動の放射平衡モデル(2)	
	4	地震における規模と発生頻度の規則的関係(1)	
	5	地震における規模と発生頻度の規則的関係(2)	
	6	地震における規模と発生頻度の規則的関係(3)	
	7	物質の平均滞留時間(1)	
	8	物質の平均滞留時間(2)	
	9	物質の平均滞留時間(3)	
	10	地層累重様式の確率論(1)	
	11	地層累重様式の確率論(2)	
	12	地層累重様式の確率論(3)	
	13	アイソスタシーとハイドロアイソスタシー(1)	
	14	アイソスタシーとハイドロアイソスタシー(2)	
	15	アイソスタシーとハイドロアイソスタシー(3)	
	16	定期試験	
キーワード	地球環境、数理、計算		

教科書・教材・参考書	毎回プリントを配布する。教科書は使用しない。関数電卓必携。
成績評価の方法・基準等	定期試験80%。小テスト20%、演習問題への取り組み20%。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	地球科学初学者向けの教養授業
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学教育_自然科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20110568009004	科目番号	05680090
授業科目名	●地球と宇宙の科学(地球温暖化の科学)		
編集担当教員	森山 雅雄		
授業担当教員名(科目責任者)	森山 雅雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	森山 雅雄		
科目分類	自然科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[全]124		
対象学生(クラス等)	全学部		
担当教員Eメールアドレス	matsu@cis.nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	工学部1号館3F 情報システム研究室302		
担当教員TEL	2579		
担当教員オフィスアワー	月曜5校時、この時間以外でも構いませんがその場合はアポイントメントをとってください。		
授業のねらい	地球温暖化に代表される熱環境問題に関わる物理学をその根本から学習する。		
授業方法(学習指導法)	演習を交えながら講義を行う。レポート提出、資料配布などはwebおよび電子メールを利用するため、受講生は電子メールが利用できる環境を整えておくこと(情報メディア基盤センターのアカウントを取得しておくことを勧める)		
授業到達目標	地球温暖化など熱環境問題のメカニズムが理解でき、その原因、対応策について説明できるようにする。		
授業内容	<p>授業内容(概要)</p> <p>1.熱環境解析に必要な物理学の基礎知識の学習</p> <p>2.地球表面での熱エネルギーの移動形態とその特徴を理解をする学習</p> <p>3.地球温暖化、ヒートアイランドの生成要因と対応策の学習</p> <p>第1回 オリエンテーション、地球温暖化に関するキーワード概説(地球温暖化解明に必要な基礎知識が把握できる)</p> <p>第2回 仕事とエネルギー(仕事、エネルギーについて理解できる)</p> <p>第3回 電磁波と光(1)(波動としての光が理解できる)</p> <p>第4回 電磁波と光(2)(電磁波と物質の相互作用である吸収、散乱、透過が理解できる)</p> <p>第5回 電磁波と光(3)(電磁波の発生機構、消滅機構が理解できる、地球の放射平衡温度が計算できる)</p> <p>第6回 温室効果(大気中での電磁波の吸収、放射により生じる温室効果が理解できる)</p> <p>第7回 熱エネルギー輸送(1)(熱の伝わりかたの4形態が概略的に理解できる)</p> <p>第8回 熱エネルギー輸送(2)(地球環境における熱エネルギー輸送の形態が理解できる)</p> <p>第9回 熱エネルギー輸送(3)(ある条件のもとで、地表の構成物質がどのような温度変化を示すかが計算できる)</p> <p>第10回 水のはたらき(1)(地球環境における水の役割と循環が説明できる)</p> <p>第11回 水のはたらき(2)(温室効果気体としての水の役割が理解できる)</p> <p>第12回 水のはたらき(3)(雲が地球環境に及ぼす影響が理解できる)</p> <p>第13回 植生のはたらき(1)(植生の蒸発散が理解できる)</p> <p>第14回 植生のはたらき(2)(光合成が理解できる)</p> <p>第15回 森林のはたらき(森林の保水作用が理解できる)</p> <p>第16回 試験と指導</p>		
キーワード	熱環境、温室効果		
	教科書: 適宜、webで参考資料を配布する。		

教科書・教材・参考書	参考書：内嶋善兵衛、地球温暖化とその影響、裳華房 気象利用研究会編、気象利用学、森北
成績評価の方法・基準等	定期試験の評価を70% 小テスト(またはレポート提出)の評価の平均を30% 両者の合計が60点以上であること
受講要件(履修条件)	履修上の注意：原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。ただし、やむを得ず(正当な理由で)欠席する場合は、個別指導を行う。
本科目の位置づけ	本講義は、自然科学分野の一般教養基礎科目として位置付けられる
学習・教育目標	
備考(URL)	http://joint.rsirc.cis.nagasaki-u.ac.jp/GW11/
備考(準備学習等)	情報メディア基盤センタのアカウントを取得しておくこと



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学教育_自然科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

学期	後期	曜日・校時	水2
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20110568009001	科目番号	05680090
授業科目名	●地球と宇宙の科学(地球大気の大気現象)		
編集担当教員	河本 和明		
授業担当教員名(科目責任者)	河本 和明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	河本 和明		
科目分類	自然科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[全]321		
対象学生(クラス等)	全学部		
担当教員Eメールアドレス	kazukawa@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部本館2階 環227室		
担当教員TEL	819-2758		
担当教員オフィスアワー	月曜日 14:30-16:00		
授業のねらい	社会的にも大きな関心をよんでいる地球温暖化や大気汚染などの大気環境問題や気候システムについて議論できるようになること。		
授業方法(学習指導法)	必要に応じて演習問題や課題を与えながら講義を行う。		
授業到達目標	地球大気の性質や振る舞い、大気汚染の原因や影響、地球温暖化を含む気候変動のメカニズムや将来予測について説明できること。		
授業内容	授業内容(概要) 地球大気の諸性質や現在の気候の特徴について概観した後、大気浮遊物質による汚染の原因や影響、地球温暖化、気候の将来予測について議論していく。		
	回	内容	
	1	地球環境問題における大気	
	2	地球大気概説	
	3	大気のエネルギー	
	4	大気の運動	
	5	大気の放射	
	6	地球の風	
	7	地球の気温と雨	
	8	雲とエアロゾル	
	9	大気汚染(1)	
	10	大気汚染(2)	
	11	酸性雨	
	12	地球温暖化のメカニズム(1)	
	13	地球温暖化のメカニズム(2)	
	14	気候の未来(1)	
15	気候の未来(2)		

	16 試験と指導
キーワード	気象、大気環境問題、汚染、人工衛星データ
教科書・教材・参考書	教科書は特に指定せず、必要に応じてプリントを配布する。参考書として「一般気象学」小倉義光(東京大学出版会)を挙げる。
成績評価の方法・基準等	試験(80%)、授業への貢献度(20%)
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	地球大気に関する啓蒙書や専門書を読むことが望ましい。

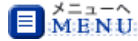


Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



メニューへ



ログアウト



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1800秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学教育_自然科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。

[戻る](#)

学期	後期	曜日・校時	木2
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20110568009002	科目番号	05680090
授業科目名	●地球と宇宙の科学(海と陸から見る地球科学)		
編集担当教員	馬越 孝道		
授業担当教員名(科目責任者)	馬越 孝道		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	馬越 孝道, 中田 英昭, 万田 敦昌		
科目分類	自然科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[全]205		
対象学生(クラス等)	全学部		
担当教員Eメールアドレス	umakoshi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部本館2階		
担当教員TEL	095-819-2766		
担当教員オフィスアワー	木曜15:00-17:00		
授業のねらい	地球の自然環境の形成要因を理解し、説明できるようにすること。		
授業方法(学習指導法)	板書、パワーポイント等を併用して解説する。		
授業到達目標	地球の自然環境の形成要因を論理的に記述できる。		
授業内容	第1～5回を万田、第6～10回を中田、第11～15回を馬越が担当する。		
	回	内容	
	1	10/6 熱帯の大気大循環	
	2	10/13 中緯度の大気大循環	
	3	10/20 中緯度の海洋大循環	
	4	10/27 赤道域の大気海洋相互作用	
	5	11/10 海洋循環と生態系	
	6	11/17 地球環境問題と海洋(1) 水の惑星:地球	
	7	11/24 地球環境問題と海洋(2) 地球環境変化とその影響	
	8	12/1 陸と海の出会うところ(1) 海岸の成り立ちと自然	
	9	12/8 陸と海の出会うところ(2) 海岸の人為改変とその影響	
	10	12/15 地球と海と人と:これからの海とのつきあい方	
	11	12/22 大陸移動説からプレートテクトニクス	
	12	1/12 プレート運動と地震・火山の分布	
	13	1/19 地震発生のしくみ	
	14	1/26 火山噴火のしくみ	
	15	2/2 地震・火山噴火への備え	
16			
キーワード	大気、海洋、海岸、地震、火山		
教科書・教材・参考書	教科書は使用せず、適宜、講義資料を配布する		

成績評価の方法・基準等	レポート課題で評価する(100%)
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.